



若竹だより



運営基本理念 一

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

努力が実を結ぶ

園長 宮竹 恒

五色台の山々が紅葉で美しい季節となりました。実りの季節でもあるこの頃、子どもたちの成長を感じる事が多々あります。

文化の日に、初めて日本舞踊の発表会を行いました。着物の着方を教わることから始め、一つ一つの所作の練習を積み重ねてきた子どもたちの成長に感動しました。毎回の練習に参加し、気持ちを整え、継続していくことは非凡なことだと思います。一つのことをやり遂げた姿に大きな成長を感じました。

日々のことになりましたが、子どもの勉強する姿勢に成長を感じる事ができます。授業中に学習したことや、自分で学んだことを何気ない会話の中で話す子どもがいます。

中学3年生は、希望の高校に合格するよう頑張っており、コツコツと自主的に勉強した結果が表れ始めています。苦手な勉強をあきらめずに取り組み、粘り強く学習を続けている子どもたちを見ていると、努力することの大切さ改めて感じています。

今年度、新型コロナウイルスの影響で、休校から始まり、行事や活動が例年とは変わっていく中、子どもたちは変化に対応する力を身に着け、成長しています。

子どもたちが逞しく成長している姿から、どのような環境下でも、日々の努力が実を結ぶことを実感しております。 一了一



今月は、土に肥料を入れ、畝を作りタマネギを植えました。本当は子どもたちと一緒に購入に行きたかったのですが、コロナの影響もあり職員で購入に行き、土、肥料、プランター、苗を購入しました。子どもたちは購入した物を見て「早くやろうよ」とワクワクしていました。肥料を入れ畝を作ったり苗を植えたりするのは、とても大変でした。



また、購入したイチゴの苗を子どもたちと一緒にプランターに植えました。植える際、プランターに入れる土の量、隣の苗との間隔を考えながら上手に植えることができました。翌日から朝の時間や授業後の休み時間などを使って水やりを毎日欠かさずしてくれていま



す。「大きくなってたよ」「葉が増えてたよ」と嬉しそうに報告してくれる子どもを見ていると私たち職員も嬉しい気持ちになりました。

青峰・若竹学級だよ

授業の様子

小学生 理科

小学5年生の理科「物のとけ方」の単元では、水の量や温度を変えて物が水にとける量を調べたり、とけた物を取り出すにはどうしたらよいか考えたりしました。

また、学習したことを生かして、塩の結晶作りにも挑戦しました。自分の好きな形の結晶ができると、「雪みたいできれい」「キーホルダーにしたい」など喜びの声があがりました。



中学生 技術・家庭科

中学生は3学年合同で技術・家庭科の授業を行い、「ペンスタンド」を作りました。のこぎりで材料を切断した後、げんのでくぎ打ちをして組み立て、最後はやすりで磨いて完成させました。慣れない道具に悪戦苦闘しながらも、楽しく取り組む姿が見られました。

感想では「くぎをきれいに打てるように頑張りました。」「このペンスタンドを早く使いたいです。」などの声が聞かれました。



小中合同 音楽科

小中学生合同で、音楽の授業を行っています。「にじ」や「Believe」を歌ったり、「もみじ」の二部合唱をしたりしています。小学4年生のかわいらしい声や、中学3年生の力強い声など、それぞれのよさが合わさり、独特のハーモニーが響いています。



修学旅行

中学3年生と小学6年生は、合同で修学旅行に行きました。高松港からフェリーに乗船して小豆島に渡り、「二十四の瞳映画村」「小豆島オリーブ公園」「寒霞溪」を訪れる、日帰り旅行でした。昨年までは、旅行日数も行先も異なる修学旅行でしたが、実施が発表されてからとても楽しみに当日を待ち、晴天に恵まれた旅行先ではたくさんの思い出を作ることができたようです。

旅行後の「修学旅行の思い出」には、フェリーやロープウェイに乗ったこと、きれいな景色やホテルでの昼食がよかったこと、家族などにお土産を買うことができたことなどを、絵や文章で書いていました。





11月16日（月）、ウォークラリーを実施しました。

午前中は石清尾山八幡宮をスタートして、紫雲広場で休憩をとり、山道を通りながら山頂（峰山公園）を目指しました。お昼は、峰山公園芝生広場でみんなでお弁当を食べました。後半は、はにわっこ広場などを通り、展望台から見える高松の景色を楽しみ、再び石清尾山八幡宮をゴールにして歩きました。



コロナの関係で今回は例年とは異なり、長い距離を歩くものではなかったですが、学校の先生方に協力して頂き、難・中・易の3つのコースに分かれて、それぞれのグループで歩きました。



急な坂道や険しい山道、ゴツゴツした岩の上を歩いたりもしました。普段歩きなれていない子どもたちには、大変かな？大丈夫かな？と心配していました。



しかし普段あまり運動をしていない子どもの表情も良く、秋の景色や自然を感じながら、楽しく話をしながら歩いていました。



コロナで、学園行事も制限されている中、当日は、天気にも恵まれ、みんなに参加できたのが本当に良かったと思いました。子ども達にとっても楽しい思い出の一日になったと思います。



日本舞踊 秋の発表会 & お茶会



毎週、楽しみながら日本舞踊を練習しています。先生から、日頃の練習の成果を披露できればと提案して頂き、11月3日に踊りの発表会とお茶のお接待が実現しました。本番前は緊張した様子でしたが、発表会が始まると堂々とした踊りを見せてくれました。



また、先生から振付を教えてもらい、お客さんの子どもも全員で楽しく踊りました。



お茶会では、理事長や先生方がお茶を立てて下さり、子どもがお運びをしました。お客さんの子どももお茶が出来上がるまで行儀よく待つことができていました。



初めての経験で子どもたちにとっても大切

な思い出になることでしょう。来年は、たくさんのお客様をご招待したいと思っています。先生本当にありがとうございました。

11月行事

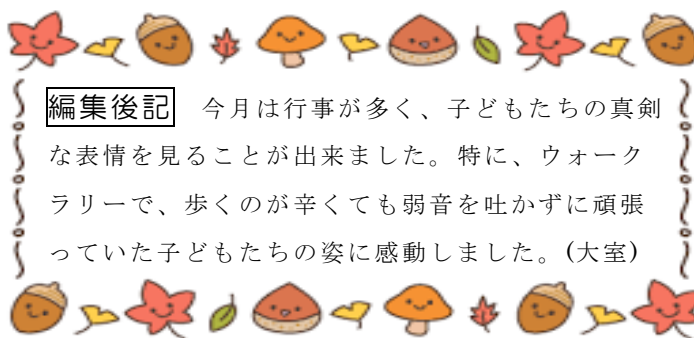
3日	日本舞踊発表会
6日	修学旅行(小6・中3)
16日	ウォークラリー
24日、25日	誕生日ケーキづくり
27日	包丁の使い方勉強会
12日、19日、27日	買物外出

在籍人数 令和2年12月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	10	2	12
中学生	10	3	13
合計	20	5	25

ご寄付ありがとうございます

若草×“服のチカラ”プロジェクト様 衣類 沢山
 四国医療専門学校参禅者一同様
 お菓子 沢山



編集後記 今月は行事が多く、子どもたちの真剣な表情を見ることが出来ました。特に、ウォークラリーで、歩くのが辛くても弱音を吐かずに頑張っていた子どもたちの姿に感動しました。(大室)

第320発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp>
 Eメール wakatake@4on.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 宮竹 恒

